

# R7年度 柘江小学校 通学路対策箇所図

## 【対策検討メンバー】

- ・教育委員会、学校(学)
- ・道路管理者(道)
- ・防犯担当部署(区民)
- ・警察署交通課(警・交)
- ・警察署生活安全課(警・生)

(柘江小2)  
 学校わきの児童が多く通る歩道だが、下りの右カーブで丁度カーブがきつくなるところにガードレールがない。昨年度ハンドル操作を誤った車がカーブを曲がり切れずに歩道に乗り上げ、道路標識、バス停表示をなぎ倒して横転の事故が発生し、子供が歩く時間帯であれば重大事故になるところであった。冬の凍結時は特に心配で、地域や保護者からもガードレールの設置を強く求められている。

## ＜対策内容＞

- ・児童への安全指導(学)
- ・登下校時の見守り(学)
- ・防犯パトロールの実施(警・交)
- ・防犯協会と連携した登下校時の見守り活動の実施(警・交)

(柘江小3)  
 学校向いにある複雑に入り組んだ四差路。最近保育園もでき、抜け道にもなっており、通学時間の交通量も多くなった。施設の入り口もあり、歩道と車道の区別もわかりづらい。今年度歩道を渡る児童が車にはねられそうになる事案が発生した。保護者や地域からも注意喚起と歩車分離の願いや歩道のカラーリングの要請があった。

## ＜対策内容＞

- ・児童への安全指導(学)
- ・登下校時の見守り強化(学)
- ・防犯ボランティアによる見守り依頼(学)
- ・ドットラインを検討(道)
- ・防犯パトロールの実施(警・交)
- ・防犯協会と連携した登下校時の見守り活動の実施(警・交)
- ・一時停止等交通規制の検討(警・交)

## (柘江小1)

交互通行が難しい狭い道路で特に路側帯に電信柱があり道路側にはみ出て通学しなければならず、昨年は下校途中の児童が2度接触事故があった。路側帯を緑に塗り分けてはいるが、歩道としてはかなり狭い。また、しばしば不審者情報がある。児童館があるため児童の通行数は多い。

## ＜対策内容＞

- ・児童への安全指導(学)
- ・センターライン除去、ドットライン(区画線)を検討(道)
- ・防犯パトロールの実施(警・交)
- ・防犯協会と連携した登下校時の見守り活動の実施(警・交)



— : 通学路  
● : 交通対策箇所